



山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会
広報部
令和2年8月20日発行
〒636-0932
奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21
Tel.0745-45-4845 FAX0745-45-4727
メールアドレス hitoki@m4.kcn.ne.jp

山田ひときの略歴 文化団体“やまと四季探訪”主宰

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得



- 総務建設委員会 委員
- 公共交通対策特別対策委員会 委員長
- 駅周辺整備事業特別委員会 委員
- 議会改革特別委員会 委員
- 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
奈良県後援会平群支部長



総合文化センター開館記念式典

4月11日、平群町総合文化センター開館記念式典が行われました。当初の計画では、近隣市町の首長や高市総務大臣他、多くの方々に御列席頂き、様々な催し物等、盛大に行われる予定でした。

「上げます」とご挨拶させて頂きました。現在は、コロナ対策を実施しながらではありますが、6月1日より貸館業務として一部の部屋の利用停止等の規制をされ、図書館部分の閲覧等は机、いすの撤去等、

第2次新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金による補正予算可決

新型コロナウイルス感染症予防対策の中で、政治は今、経済対策と予防対策を同時に進めながら、教育・福祉・人権等、様々な分野においても的確に対応していかねばならない大変な状況となっております。

平群町では8月になり、初めて感染された方が確認され、8月5日現在、計2名の方の感染が確認されています。大阪市内への通勤圏であり、生活環境が大阪と密接に

関連している我が町では、感染された方がいつ確認されても不思議ではない状況でありました。

これまでも無症状で、感染が確認されなかっただけの方もおられたのかもしれないが、ワクチンができるまで今はただ、お互いマスク他感染予防対策に気を付けて感

規制をされていますが、図書の貸出し業務は、時間制限、貸出し冊数他の規制及び緩和を行いながら運営されています。

しかし色々な規制の中、住民の方々には御不便をおかけしている状況が続いています。また、今後の利用についても、コロナ感染症の事情により変動する可能性もあるのが現状です。

染しない、させないための注意を払いながら生活していくしかないのではないかと思います。

そのような中、去る8月7日の臨時議会において、5月に実施された新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の特別定額給付金(10万円の支給)、5月に先決処分された第1次新型コロナウイルス感染症対応地

方創生臨時交付金(約1億円)による補正予算実施に次いで第2次交付金(約2億3千万円)が交付される事に伴い、町の対策に対応する補正予算が可決されました。内容については先の7月21日、議員全員協議会において町より提案された方針に対し各議員から出された様々な意見を加味したのものとなっております。

その中で、住民の方々に直接的に関係が深いものは、プレミアム付商品券の発行・4月28日以降の今年度中に生まれた新生児に対しての出産祝金(10万円/1人)・学校給食費の2カ月無償化・中小企業者等事業継続支援金の拡充と期間延長・コミュニティバス無料運行(8月11日〜翌年3月末までの予定)等です。その他、学校教育等に関連することも多く含まれ、私が提案した消毒員配置による小中学校のトイレ等清掃業務委託による、子どもたち等の負担軽減も予算化され含まれました。

2面では、1年9カ月ぶりの一般質問を掲載しています。

岡田守男氏を偲んで

令和2年5月30日、平群町役場職員の岡田守男氏(享年64歳)が永眠されました。岡田氏は平成8年4月、都市区画課に配属、令和2年5月末まで実に25年間という長い年月、平群駅前区画整理事業に従事されました。地権者等地元住民の方々との信頼関係を築き、互いの意思疎通を図ることを大切に、折衝・仕事に打ち込まれた彼だからこそ事業が無事出来たのだと思います。振り返ると私が議長当時の去る3月11日、令和3年3月末をもって駅周辺整備事業の終了を向かえるための事業報告として議員全員協議会を開催し、故岡田氏より説明頂いたのがお会いした最後となってしまいました。岡田氏は病床の身でありながらも最後まで事業の終結を心配しておられたとのことでした。

岡田氏は駅周辺整備事業に従事される以前、昭和60年4月に当時の若井解放会館勤務となり平成5年10月〜8年3月まで、名称変更後の若井総合会館(その後の人権交流センター)の館長として、地域の人々と密接にかかわりながら地元住民との信頼関係を築いてこられました。住民の心に寄り添い、様々な事業を展開させるとともに地域の子どもの学力向上・底上げにも力を注ぎ、同和教育を大きく前進させた事は、感謝の気持ちはもちろん偉大な功績として残っています。

その他にも岡田氏は、青年補導委員や保護司の要職も歴任。また、平群町体育協会の役員としても長く就任され、町民体育大会ではスターターとして、号砲係をされていた事は皆さんの記憶にも残っているのではないのでしょうか。

しかし、急激に襲って来た病のため、令和2年5月30日、帰らぬ人となってしまいました。

常に自分のことより誰かのためにを優先し、人の気持ちを大切にされていた岡田氏。私にとっても大きな存在をなくし残念でなりません。

ここに、故岡田守男氏のこれまでの平群町にとっての大きな功績を讃え感謝申し上げます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和2年6月議会

町有施設の跡地利用について

①旧平群西小学校が廃校になり6年、跡地は依然のまま。本年3月、一般社団法人・日本建築あと施工アンカー協会との賃貸借契約も交渉中であるとお聞きしたが、その後の状況は？

②旧南保育所は、昭和54年4月に開園し、平成28年3月まで町の保育事業の大きな役割を担ってきた施設でしたが閉園から約4年。町はどのような方向で跡地利用を考えられているのか？

また、待機児童をなくす観点からも、幼稚園や保育所等の民間で運営されている施設・事業者に土地及び施設の利用運営について打診・協議された経緯はあるのか？

答弁

①提案募集にて決定。賃貸費は年3百万円。改修費用は利用者負担でおこなって頂く予定。市街化調整区域の為、用途変更にあたり、都市計画法に照らし

県と協議中。

②民間売却を基本に取り組んでいる。現在インターネット「官公庁オークション」において、公売を実施している。

民間活力の導入は、町として、ゆめさとこども園が設置され、

廃止した施設であり、幼児教育施設等の誘致や打診は行っていない。

山田ひときの指摘

子育て世代を応援する観点から待機児童ゼロを目指すために

人口増戦略・若い世代の定住促進について

がもっと必要であると考えます。大きく2点伺います。

1・定住促進奨励金制度について



この制度は、家屋の固定資産税を3年間キャッシュバックする個人給付的施策として平成26年4月1日より施行され、当初、平成31年3月31日までの5年間、新築・中古物件問わず新規に家屋を取得された50歳以下を対象者として、3年間分の家屋の固定資産税を一旦、納付して頂き、翌年キャッシュバックとして交付する制度。現在は、令和2年12月31日までに申請された方を有効とするよう期間延長され、最長で令和6年まで交付されることになっています。

若者の流出を食い止め流入を促すための施策は重要であり、人口減少に歯止めをかけることは、喫緊の重要課題です。

平成26年度まで平群町の独自施策はなかったが、高校1年までの医療費無料、定住促進奨励金として固定資産税を3年間キャッシュバックする個人給付施策が26年度から実施されました。

しかし、若い世代の人たちに魅力を感じてもらえる、平群で暮らし、子どもを育てていきたいと思える判断基準になるような実益ある事業施策

も、ハードルは高いが、旧保育所跡地の利用として民間活力による幼児教育施設等の誘致・運用を目指すべきだと思う。仮に運用意思のある法人等があれば、開園・運営に向け全面的に協力し、仮に現こども園に空き状況が多くガラガラな状態になっても町内在住者の入園枠を常に確保することで魅力あるまちの判断基準になっていくと思う。

答弁

①205件。延べ431回分
②町外からの申請転入件数141件で転入者数446人。町内在住者の申請件数64件で入居者数236人。
③申請転入住民の平均年齢は38・7歳。町内申請住民の平均年齢は36・2歳。
④申請件数1戸当たりの平均交付額は3年間で約18万8千円。総交付金額は約2千7百万円。今後の現申請者に対する必要交付金はR2年で約9百50万円、R3年で約1千万円。
⑤アンケートの結果148件の回答の内、町内の方で制度を知っていた上で判断基準になった人は94人中22人(23・4%)。

山田ひときの指摘

現在の定住促進補助制度が本年12月末期限であり、財政事情や費用対効果も含め、制度の延長について検討していきたい。平群町にまずは住んで頂き、そこから定住につながるよう政策誘導できないかを改めて検討していきたい。

①H28年、R1年までの4年間の総交付件数は？
②総交付件数の内訳として、町外からの申請転入件数及び町内住民からの申請件数及び



①H28年、R1年までの4年間の総交付件数は？
②総交付件数の内訳として、町外からの申請転入件数及び町内住民からの申請件数及び

町内、町外それぞれの申請者を含む総転入者数は？
③交付した対象者の町外からの申請転入住民と町内申請住民それぞれの平均年齢は？
④申請件数1戸当たりの平均交付額及び総交付金額、並びに今後の現申請者に対する必要交付金予定費用は？
⑤申請者の内、制度を知ったうえで定住をきめたひととの状況・割合は？

2・若い夫婦対象の賃貸住宅家賃補助制度の創設について

この制度については、これまで何度も提案してきました。平成27年6月議会では「賃貸住宅家賃補助制度を実施している他の自治体の事業評価

①H28年、R1年までの4年間の総交付件数は？
②総交付件数の内訳として、町外からの申請転入件数及び町内住民からの申請件数及び

現在の定住促進補助制度が本年12月末期限であり、財政事情や費用対効果も含め、制度の延長について検討していきたい。平群町にまずは住んで頂き、そこから定住につながるよう政策誘導できないかを改めて検討していきたい。

①H28年、R1年までの4年間の総交付件数は？
②総交付件数の内訳として、町外からの申請転入件数及び町内住民からの申請件数及び

町内、町外それぞれの申請者を含む総転入者数は？
③交付した対象者の町外からの申請転入住民と町内申請住民それぞれの平均年齢は？
④申請件数1戸当たりの平均交付額及び総交付金額、並びに今後の現申請者に対する必要交付金予定費用は？
⑤申請者の内、制度を知ったうえで定住をきめたひととの状況・割合は？